

コミックマーケット年表

開催年	開催回数	日時	会場	サークル数	参加者数	できごと
1975						この年の夏、既成の「マンガ大会」への不満から、批評集団「迷宮'75」により、同人誌即売会「コミックマーケット」が立案され、企画が進められる。この時の中心スタッフは4名。
	1	12月21日	虎ノ門日本消防会館会議室	32	推定 700人	事前の開催告知を雑誌「ぴあ」や「少女コミック」で行い、参加者の約90%が中・高生の少女マンガファンの女子だった。
1976	2	4月4日	板橋産業連合会館	39	推定 550人	スペースの配置は当日の朝、クジ引きで決めていた。
	3	7月25日	板橋産業連合会館 3Fホール	56	推定 500人	同人誌即売会のほか、映像上映、原画展、合唱などの催しも行われていた。
	4	12月19日	板橋産業連合会館 3Fホール	80	推定 700人	コミケ初の入場制限が行なわれ、新会場探しへ。また初めてガイドブック(カタログ)が発行された。
1977	5	4月10日	大田区産業会館	94	推定 1,300人	「宇宙戦艦ヤマト」のブームで、アニメ系同人誌が増加。
	6	7月30-31日	大田区産業会館	100	推定 2,000人	初の2日間開催。
	7	12月18日	大田区産業会館	131	推定 2,500人	参加者多数のため、会場内総入れ替えが初めて行われる。アニメ系サークルが急速に増加し始める。
1978	8	4月2日	大田区産業会館	144	推定 2,000人	この頃からコスチュームプレイ(アニメ等に登場する人物の仮装をしてねり歩く)が現れる。
	コミケスペシャル	5月6日	四谷公会堂		推定 250人	コミケ赤字救済イベントとして企画され、上映、演劇、パネルディスカッションなどイベント中心に行われた。
	9	7月29-30日	四谷公会堂	200	推定 3,000人	準備会スタッフは会場内に5名、受付に5名。
	コミックマーケットin一橋祭	11月15日	一橋大学 21番教室			一橋大学祭にて、同大学漫画研究会との協力により行われる。一般、サークルとも参加数は不明。
	10	12月17日	大田区産業会館 3・4F	200	推定 3,000人	地方からの参加者が増え、お祭りムードが高まる。
1979	11	4月8日	大田区産業会館 3・4F	218	推定 3,000人	アニメ系サークルと漫画系サークルの会場を分ける。ロリコンマンガ同人誌(「シベール」「ロリータ」等)登場。
	12	7月28-29日	東京都立産業会館 台東館	330	4,000人	コミケット年鑑(1~11回)発行。準備会は機構の再編へ動き始める。男性参加者が増加し始める。

	13	12月23日	大田区産業会館 3・4F	290	4,000人	折からのブームに、ガンダムのコーナーは大混雑となる。この回から代表が米沢嘉博氏になる。
1980	14	5月11日	川崎市民プラザ	380	6,000人	新会場を得、準備会スタッフも拡大し、受付・警備・救護等の班分けが行われる。
	15	9月14日	川崎市民プラザ	340	7,000人	コスチュームプレイヤーが激増。入場制限が厳しくなり、アニメ会場が混乱した。
	16	12月14日	川崎市民プラザ	340	7,000人	コミケット年鑑(12~14回)発行。参加を希望するサークルが急増し、スペース不足により、参加をみあわせてもらうサークルが出始める。
1981	17	4月5日	川崎市民プラザ	400	8,000人	参加をみあわせて貰うサークルの数が急増する。
	18	8月15-16日	横浜産業貿易ホール	512	10,000人	広い会場を得て、混雑はいくぶんゆるやかに。参加サークル及び一般参加の急増によるトラブルが目立ち始めたこの頃、準備会内部で、問題解決に対する意見の食い違いから、分裂問題が起こる。この余波で、当初予定していた川崎市民プラザは使えなくなり、会場の変更をせまられた。
	19	12月20日	東京国際見本市会場(晴海): 東京国際貿易センター(南館2F)	600	9,000人	晴海で初めてのコミケ。男性参加者が過半数を占める。
1982	20	3月21日	東京国際見本市会場(晴海): 東京国際貿易センター(南館2F)	780	9,000人	コミケ初の雨天。コミケット年鑑(15~19回)発行。
	21	8月8日	東京国際見本市会場(晴海): 東京国際貿易センター(新館2F)	970	10,000人	この回より「コミケットカタログ(パンフレット)」を販売し始める。
	22	12月26日	東京国際見本市会場(晴海): 東京国際貿易センター(南館1・2F)	1,060	8,000人	参加サークルは1,000を突破するが、当日が雨のせいか、一般参加者は前回より減る。
1983	23	4月3日	東京国際見本市会場(晴海): 東京国際見本市協会(C館)	1,200	13,000人	警察からの要請により、コスプレイヤーの外出禁止(風紀を乱すとの理由)。場外整理を警備会社に委託を開始。
	24	8月7日	東京国際見本市会場(晴海): 東京国際見本市協会(B館)+東京国際貿易センター(新館1F)	1,500	18,000人	参加をみあわせてもらうサークルは300近くにのぼった。
	25	12月25日	東京国際見本市会場(晴海): 東京国際貿易センター(東館)	1,550	25,000人	準備会制作による、初の作品集、「コミケットセレクション☆'83」が発行される。
1984	26	8月19日	東京国際見本市会場(晴海): 東京国際見本市協会(B館)+東京国際貿易センター(新館1・2F)	2,400	30,000人	参加をみあわせてもらうサークルが800を越え、「機会の均等化」が今後の問題になる。
	27	12月23日	東京国際見本市会場(晴海): 東京国際貿易センター(東館)	2,300	25,000人	1サークル1スペース方式へ変わる。宅配便(フットワーク)はこの回から出店。
1985	28	8月11日	東京国際見本市会場(晴海): 東京国際貿易センター(西館+新館1F)	3,450	30,000人	大雨で開場が遅れ、また同人誌も雨の被害を受けるというさんざんな一日。もっともいつもの猛暑からは逃れられた一日だった。

	29	12月29日	東京国際見本市会場(晴海):東京国際貿易センター(東館+西館)	4,000	30,000人	完全分離2館体制で開催されたが、スムーズにとり行なわれた。アニメの東館に多くが並び、ロリコンマンガから「キャプテン翼」へ人気が移行した。
1986	30	8月10日	東京国際見本市会場(晴海):東京国際貿易センター(西館+新館1・2F)	3,900	35,000人	「キャプテン翼」のブームで、低年齢化が問題になってきた。
	31	12月27-28日	東京流通センター 大展示場	4,400	40,000人	2日間の開催でサークルも増えたがコミケットらしさが無いという意見も。2日目は雪が降って猛烈な寒さ。他イベント開催の関係で東京国際見本市会場が借りれず、会場が東京流通センターになる。
1987	32	8月8-9日	東京流通センター 大展示場	4,400	60,000人	すさまじいまでの混雑がおきたコミケ。参加者の行列が2kmにも及んだ。
	33	12月26-27日	東京流通センター 大展示場	4,400	55,000人	会場の限界から参加できないサークルが3,000以上になり問題になってきた。
1988	34	8月13-14日	東京国際見本市会場(晴海):東京国際貿易センター(西館+新館1・2F)	9,200	70,000人	晴海、東京国際見本市会場に戻る。猛暑で新館2Fは熱帯に。会場の関係で冬の開催はできず、開催日、開催場所が未定のままC35の募集を開始する。
1989	35	3月25-26日	東京国際見本市会場(晴海):東京国際貿易センター(西館+新館1・2F)	8,900	70,000人	冬が中止で6年ぶりの春のコミケ。昭和も終わり転機を思わせるコミケット。
	36	8月13-14日	東京国際見本市会場(晴海):東京国際貿易センター(東館+西館+新館1F)	10,000	10万人	連続少女誘拐殺人事件の犯人にサークル参加経験があったため、スタッフはマスコミ対応に追われる。この回で晴海、東京国際見本市会場と一旦お別れ。
	37	12月23-24日	日本コンベンションセンター(幕張メッセ)第2~5展示場	11,000	12万人	幕張メッセへ移ってのコミケ。会場が広くなり、移動が大変になった。
1990	38	8月18-19日	日本コンベンションセンター(幕張メッセ)第1~4展示場	13,000	23万人	前回から参加者が倍増したため、大変な人出で、一般参加者の列がメッセを一周した。この頃「鎧伝サムライトルーパー」のブームが続く。
	39	12月23-24日	日本コンベンションセンター(幕張メッセ)第4~7展示場	13,000	25万人	参加者が増えるにつれ、開催中に参加者の家族から「早朝から出かけて行ったがそちらは何をしているのか」といった電話での問い合わせが多くなり、カタログに「日頃から家族に理解をもってもらえるように」と呼びかけのページが掲載される
1991	40	8月16-17日	東京国際見本市会場(晴海):東京国際見本市協会(A館)+東京国際貿易センター(東館+南館1F+西館+新館1・2F)	11,000	20万人	会場や日程の変更の他、有害図書問題など様々な問題が起こり、厳しい状況の下で開催された。この回から、見本誌をただ集めるだけでなく、ワイセツにあたる表現の有無をチェックする見本誌確認が始まる。
	41	12月29-30日	東京国際見本市会場(晴海):東京国際見本市協会(A館+B館)+東京国際貿易センター(東館+南館1・2F+西館+新館1・2F)	14,000	20万人	年末にもかかわらず、相変わらずの人出。

1992	42	8月15-16日	東京国際見本市会場(晴海): 東京国際見本市協会(A館+B館+C館)+東京国際貿易センター(南館1F+新館1・2F)	12,000	25万人	猛暑で救護室がフル稼働。準備会内に記録班という部署が作られ、以後、公式の写真・映像が残されていくことに。
	43	12月29-30日	東京国際見本市会場(晴海): 東京国際見本市協会(A館+B館)+東京国際貿易センター(東館+南館1F+西館+新館1・2F)	15,000	18万人	男性系サークルの人气が上がり、一般参加者の男性が増加。「新世紀GPXサイバーフォーミュラ」に加え、「美少女戦士セーラームーン」の人气も高まる。
1993	44	8月15-16日	東京国際見本市会場(晴海): 東京国際見本市協会(A館+B館)+東京国際貿易センター(東館+南館1F+西館+新館1・2F)	15,000	25万人	森林保護募金が始まる。
	45	12月29-30日	東京国際見本市会場(晴海): 東京国際見本市協会(A館+B館)+東京国際貿易センター(東館+南館1F+西館+新館1・2F)	16,000	20万人	配置を見直すことで、より多くのサークルを受け入れるため、混雑緩和の目的で人気サークルを1カ所に集めて配置していた「A館体制」が廃止される。
1994	46	8月7-8日	東京国際見本市会場(晴海): 東京国際見本市協会(A館+B館)+東京国際貿易センター(東館+南館1F+西館+新館1・2F)	16,000	24万人	記録的な猛暑。「幽☆遊☆白書」や「SLAM DUNK」の人气が続く。
	47	12月29-30日	東京国際見本市会場(晴海): 東京国際見本市協会(A館+B館)+東京国際貿易センター(東館+南館1F+西館+新館1・2F)	16,000	20万人	コミケットプレスが創刊される。
1995	48	8月18-20日	東京国際見本市会場(晴海): 東京国際見本市協会(A館+B館)+東京国際貿易センター(東館+南館1F+西館+新館1・2F)	22,000	25万人	二十周年記念で3日間開催。カタログは索引とサークルカットなどの内容別に2分冊して発行された。
	49	12月29-30日	東京国際見本市会場(晴海): 東京国際見本市協会(A館+B館)+東京国際貿易センター(東館+南館1F+西館+新館1・2F)	16,000	22万人	晴海、東京国際見本市会場全館使用で最後のコミケット。カタログは1冊にまとまった形に戻る。
1996	さよなら晴海!!コミケットスペシャル	3月17日	東京国際見本市会場(晴海): 東京国際貿易センター(東館)	1,300	8,000人	招待サークルによる同人誌即売会。一般参加も事前応募制。資料集「コミケット20's」が発行された。
	50	8月3-4日	東京国際展示場(東京ビッグサイト)東1~3ホール+東4ホール+西1~2ホール	18,000	35万人	会場を有明、東京ビッグサイトに移してのコミケ。会場が広くなり、移動が大変になった。様々なトラブルが発生し、全ての併設イベントから苦情が来た。
	51	12月28-29日	東京ビッグサイト全館	22,000	22万人	有明、東京ビッグサイト初の全館制覇イベントとなる。西地区4階に企業ブースを設置する。1日目の開場前に一部のサークルも参加して大規模な避難訓練を実施。
1997	52	8月15-17日	東京ビッグサイト全館	33,000	40万人	コミケで初めて“雨対策”を行った。暑さにはほど遠い、肌寒い夏コミだった。再度、カタログ2分冊で発行が試みられる。

	53	12月28-29日	東京ビッグサイト全館	22,000	30万人	カタログは1冊にまとまった形に戻る。
1998	54	8月14-16日	東京ビッグサイト全館	33,000	38万人	前日設営時に何者かにより発火装置が仕掛けられ、厳戒態勢で当日に臨んだ。
	55	12月29-30日	東京ビッグサイト全館	23,000	30万人	前回同様、厳戒態勢で当日に臨んだ。1日目午前11時に会場内で発火装置に火をつけようとしている様子に参加者が気づき、犯人が確保される。以降、一斉点検の時間を設け、放送で注意が促されている。
1999	56	8月13-15日	東京ビッグサイト全館	35,000	40万人	2日目の朝から15年ぶりの大雨が降る。
	57	12月24-26日	東京ビッグサイト全館	25,000	32万人	カウントダウンイベント(後に中止が決定)の影響で日程が早まり、全館が借りられず、冬コミ初めての3日間開催となる。
2000	リゾコミin沖縄コミケットスペシャル3	3月19日	沖縄コンベンションセンター	200	1,500人	コミケ25周年の記念イベントとして沖縄で開催された。
	58	8月11-13日	東京ビッグサイト全館	35,000	43万人	この頃から参加者の年齢層も広がり、子連れでの参加の仕方が話題になる。
	59	12月29-30日	東京ビッグサイト全館	23,000	30万人	宅配便のフットワークが業務の縮小によりコミケより撤退する。クロネコヤマトの宅急便、ペリカン便、ゆうパックなどによって会場の宅配便業務が続けられていく。
2001	60	8月10-12日	東京ビッグサイト全館	35,000	48万人	この回の申込からジャンルコードが3桁化する。日本マンガ学会が生まれ、当時の準備会代表だった米沢嘉博氏も理事となり参加する。
	61	12月29-30日	東京ビッグサイト全館	23,000	36万人	りんかい線が延伸され、天王洲アイル駅で東京モノレールと接続しやすくなるなど、会場周辺の公共交通手段も変化していく。
2002	62	8月9-11日	東京ビッグサイト全館	35,000	48万人	児童ポルノ法の見直し、「青少年有害社会環境対策基本法案」が話題になっていたこともあり、カタログで手厚く取り上げる
	63	12月28-30日	東京ビッグサイト全館	35,000	45万人	カタログの表紙が冊子版、ROM版それぞれに描きおろされるようになる。
2003	64	8月15-17日	東京ビッグサイト全館	35,000	46万人	設営日を含め、4日間の全日程が雨で寒いというコミケ史上最悪の天候であった。
	65	12月28-30日	東京ビッグサイト全館	35,000	42万人	開催30周年を迎えることを機会に、30周年記念アンケートが行われる。集計結果はのちに発行された「コミックマーケット30'sファイル」に掲載された。
2004	66	8月13-15日	東京ビッグサイト全館	35,000	51万人	この年、イタリアで開催された第9回国際建築展ヴェネチア・ビエンナーレの日本館の展示に協力し、サークルスペースの模型などが展示された。 ※当時の模型が当館の常設展コーナーに展示されています

	67	12月29-30日	東京ビッグサイト全館	23,000	37万人	会期中に雪が降り、シャッターの閉鎖などの対応に追われた。
2005	30周年記念24耐(!?)コミケットスペシャル4	3月21日	東京国際展示場(東京ビッグサイト)西1~4ホール	3,400	5万人	深夜0時から設営を開始し、24時間の中でサークルの入替を行った。資料集「コミックマーケット30'sファイル」が発行された。
	68	8月12-14日	東京ビッグサイト全館	35,000	48万人	会場近隣に大きな病院が移転してくるなど、近隣事情も変化していく。
	69	12月29-30日	東京ビッグサイト全館	23,000	35万人	久しぶりに良好な天気にも恵まれる。一般待機列の形成場所の管理者とのトラブルが多発。
2006	70	8月11-13日	東京ビッグサイト全館	35,000	43万人	オンラインでWEBからのサークル参加申し込みが可能になる。
	71	12月29-31日	東京ビッグサイト全館	35,000	44万人	コミケ史上初の大晦日開催。この日より代表が3人体制の共同代表になる。最終日の閉会時に10月に亡くなった米沢嘉博氏を偲んで黙祷が行われた。
2007	72	8月17-19日	東京ビッグサイト全館	35,000	55万人	参加者人数史上最高を更新。レセプションホールを利用して東京ビッグサイト直営による有料休憩所(1日500円)が設けられる。
	73	12月29-31日	東京ビッグサイト全館	35,000	50万人	冬の参加者人数史上最高を更新。参加希望者の増加に伴い、C74用のサークル申込書セットが売り切れ、増刷が行われた。
2008	74	8月15-17日	東京ビッグサイト全館	35,000	55万人	参加者の手荷物確認を実施。
	75	12月28-30日	東京ビッグサイト全館	35,000	51万人	天候にも日付にも恵まれた穏やかな冬コミ。冬の参加者人数史上最高を更新。「東方Project」などが盛り上がる。
2009	76	8月14-16日	東京ビッグサイト全館	35,000	56万人	夏の参加者人数史上最高を更新。2日目の入場導線が混乱した。会議棟の国際会議場を使用してシンポジウムを行う。
	77	12月29-31日	東京ビッグサイト全館	35,000	51万人	この日より回収した見本誌の閲覧を同年10月に開館した米沢嘉博記念図書館で開始。
2010	コミケットとスペシャル5 in 水戸	3月21-22日	伊勢甚泉町北ビル他	1,500	33,000人	「コミケでまちおこし」をテーマに開催地を公募し、水戸市中心部の廃ビル(元デパート)で即売会を開催した。15種類のコラボ商品やスタンプラリー等、多数の企画を実施した。
	78	8月13-15日	東京ビッグサイト全館	35,000	56万人	酷暑が続く中、幸運にも2日間の曇り空。

	79	12月29-31日	東京ビッグサイト全館	35,000	52万人	冬の過去最高の参加者。主たる一般参加者待機場所が海風の吹き付ける東駐車場になったため、暖かい飲み物などが入手しやすいようにケータリング業者を充実させる対策を取る。
2011	80	8月12-14日	東京ビッグサイト全館	35,000	54万人	東日本大震災に対する各種対応を行った。
	81	12月29-31日	東京ビッグサイト全館	35,000	50万人	規制緩和の影響か、コスプレイヤーが激増して更衣室に長蛇の着替え待ち行列が発生した。
2012	82	8月10-12日	東京ビッグサイト全館	35,000	56万人	宅配便搬入でトラブルがありフォローに追われた。
	83	12月29-31日	東京ビッグサイト全館	35,000	55万人	脅迫状が届き、警察・会場からの強い要請を受け、「黒子のバスケ」ジャンルのサークルの参加見合わせと頒布自粛をお願いし、厳戒態勢での開催となった。
2013	84	8月10-12日	東京ビッグサイト全館	35,000	59万人	Webカタログが正式運用開始。全ての日が猛暑日という有明会場過去最高の暑さとなり、館内で「コミケ雲」が発生した。開会、閉会、一斉点検のジングル曲が公募により決まる。参加者59万人は、3日間開催では現時点でも過去最高の数字。
	85	12月29-31日	東京ビッグサイト全館	35,000	52万人	夏とは一転して穏やかな天気恵まれる。直前に去年の脅迫事件の犯人の逮捕もあり、ほっとした中での開催。コスプレイヤーの数はのべ2万5千人を超え、過去最高となった。
2014	86	8月15-17日	東京ビッグサイト全館	35,000	55万人	昨夏の猛暑を受けて、熱中症対策を大幅強化するも、打って変わって過ごしやすい気候。
	87	12月28-30日	東京ビッグサイト全館	35,000	56万人	6年ぶりに大晦日を外した日程もあってか、冬の過去最高の参加者数となる。第一回有明防災フェアを会場そばの有明防災公園で共催し、献血などが行われた。
2015	コミケットスペシャル6 OTAKU SUMMIT 2015	3月28-29日	幕張メッセ ホール2~3(一日目)、ホール1~3(二日目)	5,200	5万人	海外からの直接サークル参加を受け入れる。国内外のオタク文化のイベントを集めた「OTAKU EXPO」、「黒子のバスケ」オンリー即売会「くろケット」を併催し開催。
	88	8月14-16日	東京ビッグサイト全館	35,000	55万人	前週までの猛暑、台風の接近などもあり、天候が危惧されたが、さほど暑くもなく雨もほとんど降らず、強運な開催となった。「コミックマーケット40周年史」が発行された
	89	12月29-31日	東京ビッグサイト全館	35,000	52万人	テロ対策に関連して、警察からの非常に強い警備強化要請を受け、開催直前に一般参加者への手荷物確認を実施が決まる。

2016	90	8月12-14日	東京ビッグサイト全館	34,000	53万人	屋外展示場が使えない関係で、企業ブースが西1・2ホールで2日間開催となった。
	91	12月29-31日	東京ビッグサイト全館(以後東7~8舎)	36,000	55万人	新しく完成した東7・8ホールを早速使用し、東7ホールにはサークル、東8ホールにはコスプレ更衣室を置いた。サークル参加申込みのジャンルとジャンルコードの大幅見直しが行われた。
2017	92	8月11-13日	東京ビッグサイト全館(西2除く)	32,000	50万人	夏コミ初めての祝・土・日の開催。工事で西2ホールが使用できず、西に企業ブース、東にサークルと分かれた形となった。3日間とも何らか雨にたたられることになり、参加者総数もやや少なめ。
	93	12月29-31日	東京ビッグサイト全館(西2除く)	32,000	55万人	3日目に一瞬雪がちらついたものの天候には恵まれるが気温は低め。夏と同じく西2ホールが使用できず、夏に続き西に企業ブース、東にサークルを配置。
2018	94	8月10-12日	東京ビッグサイト全館	35,000	53万人	当日の猛暑が懸念されたものの、幸いにしてピークの暑さは避けられたが湿度は高かった。台風も早く通り過ぎ、コミケらしく今回も天候の運の強さを発揮。東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴いC96の開催が史上初の4日間開催となることを発表する。
	95	12月29-31日	東京ビッグサイト全館	35,000	57万人	大寒波の予報が出ていたが、寒さもほどほどで当日は好天。加えて「土日月」と曜日に恵まれた開催となったこともあり、冬の過去最高の参加者数を更新。イギリス大英博物館で開催された「マンガ展」にコミケや同人文化も紹介されるため、取材に協力する。
2019	96	8月9-12日	東京ビッグサイト南展示場、西展示棟・青海展示場	32,000	73万人	東展示棟が使用できないため、西展示棟と新しくできた南展示棟にサークルを配置、一駅離れた仮設の青海展示棟に企業ブースを置く。史上初の4日間開催となったため、過去最高の参加者数となる。